

かつらだより (11月号)

Katsura Times

November 2026

HP 更新中

スマートフォンからも閲覧できます。

✉ katsura-s@edu.city.kyoto.jp

令和8年10月26日発行

京都市立桂小学校

校長 角 明

TEL 391-1331

FAX 391-1587

10月 学校生活のようす

桂体育フェスティバル

10月14日(水)、「桂体育フェスティバル」を実施しました。当日は、朝から運動場の水取りを行いました。地域の方々にもご協力いただいたおかげで、全てのプログラムを行うことができました。子どもたちは各学年の演技や競技に対して歓声を上げたり声援を送ったりして、各学年の頑張る姿にそれぞれが刺激を受けたようでした。たくさんの保護者の皆様にご参観いただきました。保護者の皆様のあたたかい声援や拍手のおかげで、子どもたちは体育学習での成果を十分に発揮することができました。ありがとうございました。



2年 2回目の町探検

2年生は生活科の学習で町探検に出かけ、地域のお店や施設を訪ねました。子どもたちは、お店の方にインタビューをしたり、お店の様子を写真に撮ったりしながら、仕事の工夫や地域の良さについて学びました。見つけたことや分かったことは、しっかりメモを取り、後で友だちと交流しながらまとめました。地域の方との触れ合いを通して、自分たちの町をより身近に感じる貴重な学びの機会になりました。



1年 放課後まなび教室開講

10月1日(木)、1年生の放課後まなび教室の開講式を行いました。初めの放課後まなび教室に、子どもたちは少し緊張しながらも目を輝かせて参加していました。放課後の落ち着いた時間の中で、子どもたちが自分のペースで学びを深められるよう、丁寧に見守っていきます。ご家庭でも温かい励ましの声かけをいただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。



いじめアンケート & 教育相談

本校では、いじめを起こさない学級づくり、いじめは許さないという指導を、全教職員が徹底して取り組んでいます。11月には、いじめの早期発見と予防のため、全校児童に「いじめアンケート」を実施します。そして、アンケートに書かれたことをもとに、全ての児童に対して教育相談「あのねタイム」の時間を設けます。「あのねタイム」では、担任が休み時間などを利用して、悩みごとや困っていることはないか、児童一人一人と話をします。また、好きなものや興味のあるもの等についての話を聞き、児童理解につなげる目的もあります。保護者の皆様からの相談もいつでも受け付けております。ご相談などございましたら、遠慮なく学校へご連絡をお願いいたします。

学校運営協議会理事会のご報告

10月7日(水)、学校運営協議会理事会を実施しました。山本義博理事長様をはじめとする5名の理事の皆様と共に、学校教育目標や今年度の取組、前期学校教育アンケートの考察について、意見交流を行いました。

子どもたちの学びをより良いものにするために、学校・家庭・地域が連携して取り組むことの大切さを改めて共有する機会になりました。「子どもたちが安心して学べる環境づくり」や「より良い学習活動のための工夫」など、温かい視点から多くのご意見をいただきました。理事の皆様と意見交流した内容を具体化し、今後も実践してまいります。

就学時健康診断

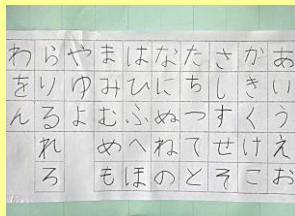
来年4月、小学校へ入学するお子たちの健康診断のお知らせです。保護者の方(または代理の方)が付き添いの上、健康診断を受けられますようご協力をお願いいたします。桂小学校では以下の日程で健康診断を行う予定をしていますのでご予約をお願いいたします。

11月10日(火) 14:15~15:30頃

京都市教育委員会から送付されている「基本情報シート」「健康に関する調査票」「食物アレルギーに関する調査について」を事前にご家庭でご記入いただき、「健康診断通知書」と一緒に就学時健康診断の受付でご提出ください。

掲示物(1年ひらがな、学校視察コメント)について

現在、本館靴箱上の掲示版には、1年生が書いたひらがなが掲示されています。一文字一文字、はねやはらいなどに気をつけて丁寧に書けていて、学習した成果が表れています。また、本館のテレビモニター付近には、学校視察に来られた方のコメントも掲示してあります。子どもたちの明るいあいさつや、自己調整学習・サキドリ教育への主体的な取組について、子どもたちの成長を認めていただく言葉が多く寄せられました。ご来校の際は、ぜひご覧ください。





行事予定

1	日	ザ・かつらまつり	16	月	学校安全の日 読書週間（～20日） 桂中学校入学説明会16:00～（桂中学校） 4年環境学習（2～5校時） 図書委員会読み聞かせ（～20日） 校内研究授業（6年2組）14:00完全下校
2	月	2年校外学習（京都水族館、雨天決行） いじめアンケート・教育相談（～13日）	17	火	視力検査（4年） 教職員読み聞かせ
3	火	文化の日 千代原町自治会運動会 秋季学区内一斉清掃	18	水	視力検査（3年） ALT（外国語指導助手）来校日 4年社会見学（琵琶湖疏水）ブックトーク（図書館司書）
4	水	クラブ活動（3年見学）	19	木	フッ化物洗口 視力検査（2年） ALT・SC来校日
5	木	フッ化物洗口 児童集会 SC（スクールカウンセラー）来校日	20	金	ALT来校日 視力検査（1年・たいよう学級） たいよう学級学習発表会（13:50～14:50） ブックトーク（図書館司書）
6	金	6年茶道体験（3・4校時） 歯科検診（低学年・たいよう学級）	21	土	
7	土	ふれあいステージ(桂中学校)	22	日	
8	日	防災訓練説明会	23	月	勤労感謝の日
9	月		24	火	桂中学校標準服・体育服採寸15:00～15:50(桂小体育館) 代表委員会（昼休み）
10	火	ともだちの日 口座振替日 就学時健康診断（受付14:15～） 13:30完全下校	25	水	にこにこの日 委員会活動 1年学習発表会（10:30～11:30）
11	水	3年学習発表会（中間休み～5校時） クラブ活動（3年見学予備日）	26	木	フッ化物洗口 SC・ICT支援員来校日 5年学習発表会（6校時）
12	木	ICT支援員・SC来校日 フッ化物洗口 視力検査（6年） 2年学習発表会（3・4校時）	27	金	13:30 完全下校
13	金	5年総合「昔遊び」6校時 視力検査（5年）	28	土	
14	土		29	日	桂学区合同総合防災訓練
15	日	救命講習10:00～12:00（桂小体育館）	30	月	

SC（スクールカウンセラー）

毎週木曜日を中心にカウンセラーの川勝先生が来校します。児童・保護者の方を対象にしたカウンセリングを実施しています。お困りのことがあれば、ぜひご活用ください。ご予約される方は学校までご連絡ください。

12月の主な予定

1日：6年学習発表会、桂中チャレンジ体験（～4日）、
3日：児童集会・人権集会、1年色覚検査、
6日：かつら検定、7日：後期学校評価アンケート（～22日）、9日：ペップトーク集会
10日：6年演劇鑑賞教室 11日：町別集会、 13日：餅つき大会（少年補導）
15日：たいよう学級校外学習・希望制個人懇談会（～22日） 17日：音楽集会
20日：凧づくり（少年補導）、 24日：2期終業式・給食終了、桂ラーニング後、完全下校
25日～1月5日：冬季休業

みまもりコーナー（下校時刻について）

地域・保護者の皆様、いつも子どもたちをあたたく見守っていただきありがとうございます。今後も、子どもたちの安心・安全のためお力添えをいただきますようお願いいたします。

11月 5日（木）完全下校日（職員会議のため）

1年生は14:10頃、2～6年生は14:50頃に下校します。放課後は、残れません。

11月10日（火）完全下校日（就学時健康診断のため）

1～5年生は、給食後13:30頃に下校します。

6年生は、各検査場の準備が終わり次第、下校します。放課後は、残れません。

11月16日（月）完全下校日（6年2組校内研究授業のため）

6年2組以外は14:00頃、6年2組は6校時校内研究授業後、15:00頃に下校します。
放課後は、残れません。

11月27日（金）完全下校日（教職員研修のため）

全学年、13:30頃下校します。放課後は、残れません。

5・6年 時代祭を見学しました

10月22日（木）、5・6年生が京都市役所前で時代祭の行列を見学しました。地域の方や校長先生、5年児童1人が行列に参加しており、子どもたちは「知っている人があんな衣装で歩いている。」「本物の歴史が目の前で動いているようだ。」と興味津々に見入っていました。歴史を身近に感じる楽しい時間になりました。

また、朝には行列に参加される方を見送る時代祭出発式を運動場で行いました。5・6年生以外の児童も行列参加者をお見送りし、地域文化や伝統に親しむ機会となりました。



ブロック塀改修工事のお知らせ

学校の敷地境界の既存ブロック塀を撤去して、鋼製フェンスを設置する最終工事が始まります。期間は、11月下旬から令和9年2月末までの予定です。お知らせください。

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果

4月23日(木)に6年生で実施した「令和8年度 全国学力・学習状況調査」の分析結果について、文部科学省から結果が公表されました。今年度は国語・算数および学校生活・家庭での過ごし方・学習時間についてなど、児童の生活状況についての児童質問調査も実施されました。本校の児童の様子について、調査から見てきた学習状況や生活意識について分析を行い、成果と課題を簡単ではありますがまとめましたので、報告いたします。

総合結果（国語・算数）

本校6年生の平均正答率は、国語において全国平均・京都府平均を上回る良好な結果となりました。「知識・技能」と「思考・判断・表現」の両観点において全国平均を上回っており、本校が進めてきた日々の授業改善や家庭学習の積み重ねの成果が表れていると考えられます。本校6年生の国語全体の平均正答率は 67.0%で、京都府平均 64.0%、全国平均 60.9%を上回りました。

また、算数についても全国平均・京都府平均を上回る良好な結果となり、基礎的な知識や計算技能の定着が見られました。一方で、複数の情報を関連付けて考えたり、理由や根拠を説明したりする問題に課題が見られました。今後は、知識を身に付ける学習だけでなく、学習した内容を活用して考えたり表現したりする活動を一層充実させることが必要であると考えています。

国語科の結果より

国語では、「知識・技能」の平均正答率が67.7%、「思考・判断・表現」が 65.6%となり、いずれも全国平均・京都府平均を上回りました。特に漢字や言葉の使い方などの基礎的な内容について高い定着が見られました。

問題別に見ると、「自分の経験と文章内容を結び付けて考える問題」「資料を活用しながら自分の考えをまとめる問題」「本文から大きく外れた内容を見分ける問題」などで良い結果が見られました。児童が自分の考えを表現しようとする意欲の高さや、日頃から行っている読書活動や話し合い活動、各教科での言語活動の充実による成果であると考えられます。

「話すこと・聞くこと」の問題では、話し合いの場面において話題を決めて伝え合う内容を検討することや、インタビューの場面において話し手が話す内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることなど、相手とのやり取りの中で話す力や聞く力が要求されます。ほかにも、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫するという「書くこと」に関する問題で高い正答率となっていました。

一方で、「問題文の条件や目的を十分に確認せずに解答してしまうこと」「根拠を明確にして考えを整理すること」「やや難しい漢字の定着（「不思議」の「議」）」に課題が見られました。

今後は、文章を丁寧に読み取る力や、根拠を示しながら考えをまとめる力、条件に合わせて記述したりする力の育成を進めるとともに、読書活動や漢字学習の充実を図っていきます。また、「書くこと」については、各教科学習と家庭学習でのノート指導や、玄関掲示板に「ノート名人」「学び方コーナー」を設けて全校児童に紹介するなど、引き続き取組を進めていきます。

算数科の結果より

算数では、計算や基本的な知識を活用する問題については高い正答率が見られました。特に、二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかの問題や、示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかを求める問題では 90%を超える正答率となりました。

その一方で、「単位量当たりの大きさをもとに判断する問題」「異分母分数の大小関係について理由を説明する問題」など、学習した知識を活用しながら理由を説明する問題では、正答率が低い傾向が見られました。また、「複数の情報から必要な情報を選び出して考える問題」に課題が見られました。

「単位量当たりの大きさをもとに判断する問題」は、ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味に

ついて、正しいものを選ぶ問題でした。この問題では、二つの数量の關係に着目し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるようにすることが重要です。異種の二つの量を比べる場合、どちらか一方の量をそろえる必要があることに気付くことができる力が必要です。正答率の低かった問題は、単に知識を問うようなものではなく、学習して理解した知識を活用したり、知識をもとにして考えたことを記述したりする力が必要となります。

分析結果からは、「知識が不足している」というよりも、「身に付けた知識を場面に応じて活用すること」や、「考えた過程を説明すること」に課題があることが分かりました。

今後は、「図や具体物を用いて考える活動を増やす」「表やグラフを読み取り活用する学習を組み込む」「『わけ』を書くノート指導とそれを話す説明活動を取り組む」「学習の評価も正誤だけではなく、説明の質を見取るようにしていく」ことを充実させ、「計算できる子」から「根拠をもって説明できる子」の育成を目指していきます。

児童質問紙の結果より

質問紙調査では、家庭学習の習慣については概ね良好な結果が見られました。また、自分で学習方法を考えたり工夫したりすることについても比較的高い意識が見られました。これは、ご家庭のご協力に支えられていることや本校のマイプランの取組などが成果として表れているものと考えられます。また、学習の見本や型が示されている課題には前向きに取り組めることや学習方法を工夫しながら学ぶ意識が育っているという良さが見られました。

一方で、自分の考えを発表したり、友だちと対話しながら考えを深めたりすることについて課題が見られました。また、学習内容同士のつながりや、学んだことを実生活に生かすという意識も十分とは言えない状況でした。さらに、学習の振り返りや自己評価を次の学習につなげる力にも課題が見られました。

今後は、友達との対話を通して考えを深める学習や、目標と振り返りをつなぐ活動を大切にしながら、主体的に学び続ける力を育成していきます。

また、「いじめはどんな理由があってもいけない」と考えている児童が 98.1%、「人の役に立つ人間になりたい」と考えている児童が 90.1%と、高い割合を示しました。そして、「学校へ行くのが楽しい」「友達関係に満足している」「自分にはよいところがあると思う」と回答した児童も多く、安心して学び、自分らしさを発揮できる学級・学校づくりが進んでいることがうかがえます。

さらに、「先生は自分のよいところを認めてくれている」と感じている児童や、「友達と協力して課題解決に取り組んでいる」と回答した児童も全国平均を上回っており、本校が取り組んでいる「チーム担任制」や日頃の教育活動の成果が表れていると考えられます。

一方で、「学習した内容を次の学習や実生活に結び付けて考えること」や「分からないことについて自分で学び方を工夫すること」、「話し合い活動を通して考えを深めること」については、さらなる向上の余地が見られました。

全体を通して、保護者の皆様へ

本校では「心豊かに主体的に行動できる子」という学校教育目標のもと、保護者や地域の皆様の協力を得て、教職員一丸となって取組を進めています。今回の調査から、本校児童は基礎的な知識や技能をしっかりと身に付けていることが分かりました。一方で、それらの知識を活用しながら、自分の考えを根拠をもって説明したり、他者と対話しながら考えを深めたりする力については、さらに伸ばしていく必要があります。

今後は研究主題でもある「目を輝かせ、いきいきと楽しく学ぶ子の育成」を大切にしながら、児童が主体的に、そして学びそのものを楽しむことができるよう、取り組んでまいります。また、保護者・地域の皆様と連携しながら、子どもたちの豊かな学びと健やかな成長を支えていきたいと考えています。

保護者の皆様には、日頃から子どもたちの学習や生活を支えていただいていることに感謝申し上げます。今後も家庭と学校が連携し、子どもたち一人一人の可能性を伸ばしていけるよう、ご理解・ご協力ください。よろしくお願いいたします